

第7回向日市総合計画審議会会議 議事要点録

日 時	平成21年6月26日(金) 午後1時30分から午後4時まで
場 所	向日市役所3階 大会議室
出席委員	別添「第7回出席者名簿」参照のこと
欠席委員	5名
傍聴者	4名
内 容	下記のとおり

1 議 事

(1) 新総合計画・基本構想(第6次案)について

「資料 向日市新総合計画・基本構想(第6次案)」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われ、基本構想(第6次案)全体について審議された。

【意見の要旨】

委 員：3ページ目のところで「西日本でもっとも面積の小さな市」という項目があるが、面積規模以外で、例えば向日市の人口や財政規模は全国的にはどのくらいの位置にいるのか。

副市長：正確な数値ではないが、今現在、「市」の数はおよそ800程度で、人口5万人くらいの市のランキングは、真ん中より少し下の位置になる。なお、市区町村の全体数は約1,800くらいである。なお、財政規模については、人口をはじめ様々な要素により算出されるものなので、一概に順位づけできない。

委 員：4ページ目の「水害の歴史」のなかで、「梅雨季」「台風季」という表記がなされているが、一定の期間を表す場合は、「期」の方が正しいのではないか。

委 員：7ページ目の「鶏冠井の地名と日蓮宗」であるが、人に対して「鶏冠井」の説明をする際には、「鶏(にわとり)のとさかの形が楓(かえで)に似ているので・・・」という説明をよく使う。ひとつの俗説ではあるが、例え話として、この項目に加えてもいいのではないか。

事務局：ご指摘のところを掲載できるかどうかについては、本市文化資料館の学芸員などと相談して検討したい。

会 長：16ページ目の中段部分の「都市構造の目標」という表記について、正

確には「目標とする都市構造」と改めた方が良いと思われる。

委員：19ページ目の基本政策の1つめ「安心・安全に暮らせる生活環境を創り出す」のダイヤモンドの1点目について、「障害のある人や高齢者の方などが」となっているが、「高齢者の方などが」という表記は回りくどいのではないか。「高齢の方」とした方がすっきりする。

委員：基本構想全体の構成について、現在示されている資料のとおり順番となるのか。特に1～2ページ目の「計画の目的」や「期間」の配置は、将来都市像の前に動かすなどを考えているのか。

事務局：構成の順番については、これまでの審議を踏まえて、資料のとおりとしたい。また、これまでご指摘いただいた文章の表記などについては、事務局で一定修正などを行い、次回の審議会に提示したい。

会長：この第6次案において、これまで「検討中」とされていた箇所も記述が加えられて、ほぼ形が出来上がった。本日の議論のなかでも大きな内容変更や疑問なども出されなかったことを踏まえて、次回の審議会でも最終案を事務局から提示してもらい、決定としたい。

(2) 新総合計画・前期基本計画(第2次案)について

「資料 向日市新総合計画・前期基本計画(第2次案)」に基づき、事務局から説明があり、その後、意見交換が行われた。

【意見の要旨】

委員：各ページ毎の重点施策に担当課が記述されてあるが、その必要があるのか。ひとつの事業に対して複数のセクションが関わっている場合もある。

事務局：行政の計画書において、担当課名まで記述するケースはあまりない。課の名前は比較的に変更される場合も多く、むしろ記述すべきかどうかを審議していただきたい。

委員：課の名前が変更されることがあっても、市民に対して責任の所在をはっきりさせる必要があるので、記述すべきだと思う。

委員：私も同意見。記述されている方が読み手にとってわかりやすい。

委員：サービスを与える側の行政の立場から言うと、課名を記述した方が責任の所在は明確だ。ただ一方でサービスを受ける我々からすれば、例えば道路のことを相談するにも複数の課が関係しているなど、この計画書だけ見ても、どこに相談すれば良いかわからない。

委員：末尾の資料として、各基本施策毎の担当課一覧をつけるなど、工夫すれば良いのではないか。

委員：専門用語を含めて、耳慣れない言葉が使われていてわかりにくい。何らかの工夫が必要ではないか。

事務局：専門用語については、用語の解説集の作成作業も併せて進めている。最終的には何らかの形でまとめる予定をしている。

会長：市民が読みやすい計画という趣旨からすれば、論文のように用語解説を設けるよりも、専門用語や外来語については一般的な日本語に直すなどした方がわかりやすい。

- 委員：各基本施策の中身について、まず5ページ目の「障害のある人の自立を支える」について、点訳者養成講習会について触れられていない。市の主催事業ではないが30年来の歴史ある事業でもあり、取り上げていただきたい。また、20ページ目の「学ぶ意欲を育む」の取組テーマのひとつめに「豊かな人間性」という言葉が2回使われているが、文章表現としておかしくないか。最後に文化の取組について、向日市が文化の誇り高いまちにしたいという願いを常々持っており、そういう意味では、教育委員会などが行う市民音楽祭や文化展が触れられていない。事業自体もしばみつつあるので、この辺りにも力を入れていただきたい。
- 副会長：5年間の具体的目標であるが、数値の根拠についてわからないものがある。例えば、13ページ目の「商売がにぎわう」の年間商品販売額の5年後の数値について算出根拠を明確にしないと説得力がない。また、14ページ目の「ものづくりが活力を持つ」の取組事業が少なくないか。製造業の分野における地元商工会や京都府との連携や、市内企業のネットワークの構築をはじめとした既存企業への支援策などについても記述してはどうか。他にも、18ページ目の「交流でにぎわいを創る」に姉妹都市交流がない。また、23ページ目の「歴史を未来へつなぐ」の5年間の具体的目標の”大極殿のあるまち”について、何か唐突な印象を受けた。
- 会長：都の中心である大極殿が存在したまち・・・というのは全国でも稀なケースなのでアピールする意味はあると思う。冒頭に”長岡京の”にすればわかりやすくなる。
- 委員：アピールするにしても実際には公園のなかに跡地しかなく、もっと宣伝すればいいのと思う。お金がなくても、インターネットなどを活用したPRなど、工夫する余地はある。
- 委員：13ページ目の「商売がにぎわう」のなかの重点施策の2つめについて、取組事業の記述が抽象的すぎる印象を受ける。一つひとつの表現がわかりにくいので、より具体的に「～をする」「～をつくる」といった記述ならばよくわかると思うのだが。
- 委員：商売人にとってはより切実な問題について記述されており、具体的でよくわかると思う。取組テーマの1つめのなかで、”商業施設を誘導するため”と書かれているが具体的には何をするのか、もうひとつははっきりとしない。
- 副会長：大型商業施設を適正に配置する、という意味なのか、既存の店舗に対する支援を行うのか、明確でない。
- 事務局：13ページの「商売がにぎわう」については、基本構想のなかで中心市街地重点整備エリアを設定して、重点的に取り組んでいくことを打ち出しており、それを踏まえて施策を検討している。ご指摘の点については確かに、取組テーマと具体的な事業がたすき掛けになって、対応関係が明確でないので、再度検討したい。
- 委員：16ページの「駅力を強化する」について、中身は別として”駅力”という言葉は、行政ではあまり馴染みがないように思える。
- 事務局：”駅力”という言葉については、行政では今回初めて提示させていただいた。市では、3つの駅を核とした都市基盤の整備に力を入れていき

いと考えており、その思いを表現させていただいている。

委員：5年間の具体的目標について、2つ提案したい。まず一つめは19ページの「子育てを応援する」について、保育所の待機児童数の減少を、また、2つめは22ページの「地域で学ぶ」について、地区公民館の施設利用者数の増加である。地域にこれだけたくさんの公民館やコミセンのあるまちは、私の知るかぎり向日市しかなく、そういう意味では充実しているが、利用に関して制約も多く、利用率が低い。窓口の対応も不親切なので、サービス面での向上も含めて、考えてもらいたい。

庁内委員：保育所の待機児童数であるが、現在、定員数の111%の児童を措置しており、希望する場所に行けずに待機されている方は10名である。

委員：5年間の具体的目標について、何故これが掲げられているのか疑問なものがある。

委員：各基本施策のタイトル名について、主語を「市民と行政の協働で」と統一するという意味から、「13 商売がにぎわう」は「商売を活性化する」、同様に「14 ものづくりが活力を持つ」は「ものづくりに活力を与える」、「地域の個性が輝く」は「地域の個性を引き出す」の方が妥当ではないか。また、「11 安定・快適なライフラインを・・・」については「安定的」の方が正しいと思う。「26 互いに尊重し合う」だけが漠然としており、「互いの人権を尊重する」で良いのではないか。

事務局：本日、ご意見やご指摘をいただいた部分について、再度、庁内で検討を行い、次回の審議会で第3次案として提示させていただきたい。

会長：次回は事務局から提案される第3次案について議論を行い、内容についてほぼ固めたいと思うので、各自の意見などをまとめておいていただきたい。

2 今後のスケジュールについて

会長：当初の予定では次回で市長に対して答申を行う予定であったが、まだ少し審議する機会を持つ必要があるかどうか、事務局から提案していただきたい。

事務局：本日の審議を踏まえて、まだ審議を続ける時間が必要だと思われる。従って、7月に2回審議会を設けることとして、もう一度審議を行い、それを踏まえて答申をしていただければと考えている。

会長：やはりもう一度審議が必要と判断するので、7月に2回審議会を行うこととしたい。

3 次回審議会の日程調整について

次回は、7月21日（火）および28日（火）の午後1時30分から市役所3階大会議室で開催予定。

4 報告事項：向日市新総合計画シンポジウムの開催について

事務局より、7月4日に開催する新総合計画シンポジウムについて、各委員に対して宣伝を行い、参加者を募っていただけるよう依頼を行った。

以 上

出席者名簿

向日市総合計画審議会

役職	氏名
会長	白幡 洋三郎
副会長	中村 智彦
委員	五十棲 正孝
"	植田 進
"	大塚 正洋
"	北野 節子
"	塩崎 光義
"	島 卓扶
"	節田 典子
"	平山 哲男
"	藤田 晶子
"	矢野 竹子
"	山村 照子
"	渡辺 真理
"	和田 良次

向日市総合計画策定委員会

委員長	和田 副市長
副委員長	五十棲 企画総務部長
委員	安田 市長公室長
"	上田 市民生活部長
"	檜谷 健康福祉部長
"	大島 上下水道部長
"	江口 教育部長
"	岡崎 議会事務局長

事務局

	植田 企画総務部参事兼企画調整課長
	松下 企画調整課課長補佐
	塚本 企画調整課主査
	山田 企画調整課主査